

空き店舗を活用して、コミュニティの場を創出

## 当別町商工会

機関名	当別町商工会			
所在地	北海道石狩郡当別町錦町1248			
電話番号	0 1 3 3 2 - 3 - 2 4 4 7			
地域概要	(1)管内人口	2万人	(2)管内商店街数	160商店街
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数	1商店街	(2)会員数	46商店
	(3)空き店舗率	19%	(4)大型店空き店舗数	0店
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街			

### 【事業名と実施年度】

平成14年度 空き店舗対策事業

ギャラリー、情報提供の拠点を設置

- ・空き店舗を利用した地元産物の販売
- ・各種情報の提供、体験教室
- ・町民の作品展示
- ・フリーマーケット等のイベントの実施

総事業費

9,096千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

当別町は石狩平野の北部に位置し、南を札幌市・江別市、西を石狩市と接している。

近年、全国的に商店街の衰退が叫ばれているが、当別町も例外ではなく、商店街を中心に空き店舗が増加し、市街地の空洞化と景観の悪化により、集客力が衰退している。

このままでは「まちの顔」としての商店街の形成が崩壊しかねないという危惧から、空き店舗を有効活用し、「まちの顔・暮らしの広場」を復活するため本事業を実施した。



当別町の位置

#### 2. 事業内容

商店街にある空き店舗を利用し、当別町商店街活性化センター「あえ〜る」を設置した。町内情報の提供、地元農産物の販売、各種イベントや体験活動、ギャラリー・パソコン体験など、コミュニティの場として多目的に活用することにより商店街の集客力を高め、商店街の活性化と個店の販売促進を図った。

## 当別町商工会議所

### ①施設の名称

当別町商店街活性化センター「あえ〜る」とした。各種イベントや体験活動・ギャラリーとして多目的に活用することから、センターに来たら多くの仲間に出会えることを願い「あえ〜る」とした。

### ②事業着手および完了

着手：平成14年6月17日

完了：平成15年3月30日

### ③実施場所

当別町弥生6564番地2 1、2階

204.12㎡

### ④実施体制

実施主体の当別町商工会が関係団体の協力を得て、当別町商店街活性化センター「あえ〜る」運営検討委員会、並びに当別町商店街活性化センター「あえ〜る」管理運営部会を設置し、事業の円滑な推進を図った。



あえ〜る全景

### ⑤実施事業の内容

- ・地元特産品の展示と併せ農産物の即売会を実施した。
- ・自然とふれあう場や花による商店街の装飾、子供たちに商店街とその周辺を知ってもらうためのカルチャー教室を実施した。
- ・町民グループを中心とする盆栽・手芸等の制作活動が盛んであり、町内で臨時的な展示即売会などが実施され、好評を得ている。屋内で実施する展示・販売環境の整備の観点から、商店街での展示即売会の機会を提供した。また、文化団体等の各種写真展、小中学生の絵画・書道展等を実施できる展示ギャラリー機能を整備した。
- ・行政・観光・商店街・情報発信の場と併せ、パソコン体験の場を常設し、情報交流事業の場と図書室を整備した。
- ・町民が気軽に立ち寄り、相互にふれあうことができる休憩コーナーを設置し、町民の憩いの場とした。
- ・本事業の継続に必要なアンケートの実施と、入場者のカウント調査を実施した。

(館内利用状況等)

1 階	2 階
①町内情報提供 ②チラシ、パンフレット収集、提供 (取扱い件数約100件) ③観光ビデオ等鑑賞 ④サークル、その他諸団体ミーティング ⑤休憩コーナー(コーヒー、その他) ⑥パソコン、インターネット体験 ⑦ミニ講座 ⑧フリーマーケット ⑨当別町内特産物展示 ⑩道民の森、森作り、インフォメーション コーナー ⑪各種イベントチケット販売、整理券配布 ⑫ふくろうグッズ、スウェーデン交流セン ター工芸品販売 ⑬当別町姉妹都市岩出山物産紹介販売 ⑭町内共通商品券取り扱い ⑮町内施設紹介 ⑯入場者のカウント調査 ⑰入場者アンケートの実施 ⑱ペットボトルリサイクル (毎週土曜午前10時～12時) ⑲トイレ使用	①各種展示会 (写真、絵画、作品展、パネル展他) ②21世紀鮎田塾(講演会)・ガーデニング 講座 ③図書コーナー ④クラフト、トールペイント、木彫り実演 等カルチャー教室 ⑤諸会議

## 【効 果】

- (1) オープン以来の入館者は10,159名(平成14年8月10日～平成15年3月30日時点)となった。展示会等を実施した期間の入館者が目立った。特に'03当別ふくろう展(町の鳥ふくろう)を実施した9日間では1,379名の入館者があり、全体でも1日あたりの入館者が平均52人と予想を上回る結果となった。
- (2) 各種展示会については今まで埋もれていた活動家の発表の場として広く利用されたことから、文化的活動を通じて団体・個人との出会いの場の広がりや賑わいを創出した効果は大きいものである。なお、本事業は平成15年度も継続中である。

## 【課題・反省点】

- (1) 町内の各種情報提供の場である「あえ～る」1階の交流広場において、ディスプレイは一定の評価を得ているもののマンネリ化しがちであるため、常に新鮮さを失うことのないよう配慮すべきである。
- (2) 2階は主に各種展示会場として利用したが、運営検討委員会における出展者の意見の中で急な階段と会場の雰囲気作りの改良が指摘された。階段の改良は困難であるが、展示会場のインテリアなどは改善をしていくべきである。
- また、開館時間の10時～17時を19時にすべきとの意見もあった。

商店街のほとんどが日曜閉店のため人通りが落ちこむことから、これらへの対応も求められている。

【教 訓】

新たな事業展開により、町民の評価は高いが、継続していくためには、商工会独自の運営は困難である。

【関 連 U R L】

当別町商工会 <http://www.tobetsu.or.jp/>

北海道新聞 2002年(平成14年)9月25日(水曜日)

目指せ、当別町商店街の活性化

小学生向け自然観察会 28日  
町民対象の写真講座 来月

「あえ〜る」活動多彩に

「野の花と器展」も開催 まで



「あえ〜る」活動多彩に  
「野の花と器展」も開催 まで

「あえ〜る」活動多彩に  
「野の花と器展」も開催 まで

「あえ〜る」での活動の様子を伝える新聞記事  
(平成14年 9月25日北海道新聞)

北海道新聞 2003年(平成15年)2月8日(土曜日)

はく製や置物45点、写真30枚…

町の鳥フクロウ集合 当別



フクロウでまちおこしをと、販売用の陶器などを並べる会員たち

「愛好家の交流の場」に

「あえ〜る」活動多彩に

「あえ〜る」活動多彩に

「'03当別ふくろう展」では  
9日間で1,379名の入館者があった  
(平成14年 9月25日北海道新聞)